

**GUNZE**

**2013年3月期(117期)  
第2四半期 決算説明会資料**

**2012年11月2日  
グンゼ株式会社**

**1.2013年3月期 上期決算概要**

**2.2013年3月期 通期計画**

**3.セグメント別詳細説明**

**1.2013年3月期 上期決算概要**

2.2013年3月期 通期計画

3.セグメント別詳細説明

# 1.-1 連結業績

## 第2四半期 連結業績

(単位:百万円、%)

項目	116期 (12/3期) 第2四半期実績	117期 (13/3期) 第2四半期実績	対前年
			上段:増減額 下段:増減率
売上高	67,059	63,313	△3,745 △5.6%
営業利益 (利益率)	609 0.9%	875 1.4%	266 43.7%
経常利益 (利益率)	635 0.9%	751 1.2%	115 18.3%
当期純利益 (利益率)	329 0.5%	195 0.3%	△134 △40.7%

※ 第2四半期業績予想は、今期公表しておりません

# 1.-2 今年度上期のポイント

- 消費トレンドの落ち込み、買い控え、低価格化等により減収  
 アパレルの損益改善で営業利益増

## 機能ソリューション事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	△29	◆プラスチック : 残暑の長期化で主力の飲料向け(平板収縮フィルム)が健闘 薄膜化のトレンドは継続、食品包装分野や工業用途は苦戦 ◆エンブラ : 欧州景気低迷とOA機器の高耐久化と印刷部数抑制による受注減 ◆電子部品 : ボリューム案件がなく苦戦。Windows 8パソコン向けのタッチパネル 受注獲得に注力
営業利益	△5	

## アパレル事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	△14	◆インナーウェア : ベーシック商品を中心に苦戦続くが、原料安を含めたコスト改善 により営業利益増 ◆レッグウェア : ストッキング需要回帰(新ブランド「MIRICA」堅調) ◆繊維資材 : 自動車用資材が好調
営業利益	+7	

## ライフクリエイト事業

(億円)	対前年	主な要因
売上高	+4	◆スポーツクラブ : 新規2店オープン(4月:京都, 8月:神戸, 機能特化の都市型店) ◆不動産関連 : 前橋リリカ・リニューアルオープン売上増 つかしん「にしまち」工事による売上減
営業利益	0	

# 1.-3 事業セグメント業績

## 第2四半期 連結業績

(単位:百万円, %)

	売上高			営業利益		
	116期 (12/3期)	117期 (13/3期)	対前年	116期 (12/3期) 下段:利益率	117期 (13/3期) 下段:利益率	対前年
			上段:増減額 下段:増減率			上段:増減額 下段:増減率
機能ソリューション計	26,142	23,235	△2,908 △11.1%	1,928 7.4%	1,407 6.1%	△521 △27.0%
アパレル計	35,323	33,969	△1,354 △3.8%	110 0.3%	837 2.5%	727 660.9%
ライフクリエイト計	6,169	6,611	442 7.2%	324 5.3%	307 4.6%	△17 △5.2%
小計	67,634	63,817	△3,817 △5.6%	2,364 3.5%	2,552 4.0%	188 8.0%
全社・消去	-575	-503	72	-1,754	-1,676	78
連結計	67,059	63,313	△3,745 △5.6%	609 0.9%	875 1.4%	266 43.7%

1.2013年3月期 上期決算概要

**2.2013年3月期 通期計画**

3.セグメント別詳細説明

# 2.-1 通期業績予想

## 通期 連結業績予想

(単位:百万円, %)

項目	116期 (12/3期) 実績	117期 (13/3期) 予想	対前年
			上段:増減額 下段:増減率
売上高	136,621	137,000	379 0.3
営業利益 (利益率)	1,023 0.7%	3,600 2.5%	2,577 251.9
経常利益 (利益率)	975 0.7%	3,400 2.4%	2,425 248.7
当期純利益 (利益率)	571 0.4%	1,600 1.1%	1,029 180.2
ROE	0.5%	1.5%	+1.0P —

2012年5月14日「2012年3月期 決算短信」業績予想の売上高を45億円減額しております。

## 2.-2 通期業績予想(事業セグメント別)

GUNZE

(単位:百万円, %)

	売上高			営業利益		
	116期 (12/3期)	117期 (13/3期)	対前年	116期 (12/3期) 下段:利益率	117期 (13/3期) 下段:利益率	対前年
			上段:増減額 下段:増減率			上段:増減額 下段:増減率
機能ソリューション計	51,500	50,800	△700 △1.4%	3,587 7.0%	4,040 8.0%	453 12.6%
アパレル計	72,948	73,400	452 0.6%	192 0.3%	2,060 2.8%	1,868 972.9%
ライフクリエイト計	13,424	14,100	676 5.0%	920 6.8%	1,200 8.7%	280 30.4%
小計	137,873	138,300	427 0.3%	4,700 3.4%	7,500 5.3%	2,800 59.6%
全社・消去	-1,252	-1,300	△48	-3,677	-3,700	△23
連結計	136,621	137,000	379 0.3%	1,023 0.7%	3,600 2.5%	2,577 251.9%

1.2013年3月期 上期決算概要

2.2013年3月期 通期計画

**3.セグメント別詳細説明**

# 機能ソリューション事業(1)

## 上期

## 下期

### プラスチック

残暑のため飲料用途が健闘するも、食品包装、工業用途は苦戦

- ± 残暑の長期化で飲料用途(平板収縮フィルム)が健闘したが、昨年の震災需要までは届かず
  - ・薄膜化のトレンドは引続き進行
- 食品包装用途(OPP, 複合ナイロン), 工業用途は苦戦
  - ・昨年の震災時の積み増し在庫の調整のため、荷動き低調
  - ・異常気象のため、野菜の生産量自体が減少



- 平板収縮: 薄膜ハイブリッドフィルムの拡販
- OPP、複合ナイロン: スーパー・CVSのPB商品の取り込み
- 海外関連:
  - ・中国: 市場要望に合わせたPVC品の投入、OPS海外輸出拡大等
  - ・米国: ハイブリッド化推進による平板収縮の拡販
  - ・欧州: 欧州景気低迷の影響懸念

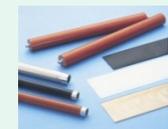


### エンプラ

欧州市場の不振でOA用途は苦戦、半導体など産業分野は回復基調

- 欧州の景気低迷により、レーザープリンターが苦戦
  - ・複合機、POD(プリントオンデマンド)分野は堅調
- OA機器の高耐久化と印刷部数抑制のため消耗部材のリピート注文減
- + 半導体関連では、旺盛なスマホ市場向けが堅調

- 転写ベルト: 後継機種の実確な取り込み
- フッ素樹脂チューブ: 高機能品の拡販とローエンド品の価格戦略
- 一般用途向け: 新規販路開拓の強化



# 機能ソリューション事業(2)

上期	下期
<p><b>電子部品</b>      上期はホリウム案件がなく苦戦、下期はWin8案件の量産化で回復基調</p>	
<p>iPad (Apple) の独走とアンドロイドOS陣営(タブレットPC) の低迷</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ホリウム案件がなく、各社下期のWin8搭載PC向けタッチパネル受注獲得に注力</li> <li>± 中国ローカル向けに半製品販売の試行 → 旺盛な需要のスマホ市場向けに、組立前の半製品を供給</li> <li>- フィルム外販は、ユーザーの企画遅れにより商談遅延</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Win8案件の本格稼働、量産化             <ul style="list-style-type: none"> <li>① UltraBook の取り込み</li> <li>② AIO (All in One) PCの取り込み</li> </ul> </li> <li>&lt;当社品の強み&gt; 軽さ、強度、大画面のタッチ感度の良さ</li> <li>■ 半製品販売: 中国スマホ向けに、印刷フィルムなどの新規開拓</li> <li>■ フィルム外販: 韓国・台湾及び日本市場の開拓強化</li> </ul>
<p><b>メディカル</b>      縫合補強材中心に堅調に推移、下期は海外販路拡大に注力</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>+ 縫合補強材は、好調に推移 ・日本及び中国、韓国、欧州で好評価</li> <li>+ 新型血糖値センサーを本格販売</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中国深圳大学との共同研究室を設立及び新工場建設準備(2013年稼働予定)</li> <li>■ 人工皮膚、骨接合材の海外販路拡大</li> <li>■ 縫合補強材の新・診療科への拡大 ・セミナーやドクターの講演等で訴求</li> </ul> <div style="text-align: right;">  </div>

## 上期

## 下期

### インナーウェア

ベーシック商品を中心に苦戦が続くが、ミドル・シニア市場へ注力

- ベーシック品、シーズン品の苦戦
  - ・機能シーズン品の同質・飽和化と競争激化
  - ・天候不順による機会ロス  
(実需期の低温化 及び残暑)
- + 重点ブランド( BODYWILD、KIREILABO)は伸長  
 <メンズ>
  - ・BW:カットオフ(切りっぱなし仕様)、  
ステテコなどが好調
- <レディス>
  - ・“エイジング世代向け”の KIREILABO  
が伸長
- チャネル別では、PB商品拡大のため  
大手量販店が特に苦戦
- ± カタログ・ネット・直営店は、対前年では2桁増だが  
期待値には届かず



### ■12AW重点ブランド:



- ・機能インナー「HOTMAGIC」の特長訴求  
特長：厚手ストレッチ、綿混商品等
- ・ベーシック商品 綿回帰現象に対応した天然素材訴求
- ・「BODYWILD」発売15周年(記念商材、キャンペーン)

### ■13SS:ミドル・シニア市場へ注力

- ・新ブランド「GRANDFIT」発売
  - シニア層の体型変化に対応
- ・お客さまの声を取り入れた商品投入
  - 「縫い目が肌にあたりにくい」など
  - 婦人「軽失禁対応」など
- ・「BODYWILD」のラインナップ強化
  - ミドル向けの商品展開 (BODYWILD EX)
  - ビジネスシーン向け (BODYWILD Biz Cut)



## 上期

## 下期

### レッグウェア

### ソックスグループが苦戦、プレーンストッキングは好調

- +** プレーンストッキングは好調
  - ・新ブランド「MIRICA」が堅調に拡大
  - ・その他、機能性商品も好調
  - 着圧機能, 速乾機能, UV機能など
- 残暑の影響で秋冬物への商品切替の遅れ
  - ・薄手タイツは堅調
- ソックス系は総じて低調な動き



- 12AW: 「MIRICA」の定着化に注力
  - ・スマート&レッグキャンペーン展開
- 13SS: ミセス・シニア市場の展開拡充と機能強化
  - ・LegBeauty: ミセスの体型変化に対応
  - ・SABRINAソックス: 天然素材にこだわった国産ソックス
- その他重点グループ
  - ・スポーツシーン向け: Reebokソックス新発売
  - ・新カテゴリー: レギンスパンツ (レギパン) ⇒



### 繊維資材

### 海外及び自動車用資材が好調。バングラデシュ新会社設立

- +** 自動車用 縫製資材が牽引し、全般的に好調
- バングラデシュへの進出
  - 拡大する現地縫製業への対応と
  - アジア地域の供給のため、新合併会社設立(7月)
  - 2013年7月稼働予定



エアバッグ用

- 自動車向けにフル生産対応
  - ・エコカー補助金終了後の国内自動車需要 落込み懸念
  - ・日中摩擦による中国での日系自動車 落込み懸念
- 衣料用縫製資材は引き続き低調見込み
- 中国人件費高騰、東南アジアへ工場シフト



# ライフクリエイティブ事業(1)

## 上期

## 下期

### 不動産

「つかしん」改装工事が影響、下期はリニューアルオープン

#### + 前橋リリカ

- ・リニューアルOPEN (2011年12月)
- ・新テナント(スポーツ店等)開店 (2012年3月)



#### - つかしん「にしまち」改装工事(2012年1月~10月)

- ・つかしん全体の来街者数は前年クリア
- ・7月 新規テナント導入により売上回復



#### ■ つかしん「にしまち」

10/20 リニューアルOPEN



10/20 オープニングセレモニー

#### ■ エスコ事業\* の中国進出

・会社設立申請中

\*省エネ提案・維持・管理など  
包括的なサービスを行う事業



断熱材「エコカバー」

### スポーツクラブ

既存店 堅調に推移。新規2店舗オープン

#### + 既存店会員数増もあり好調



#### ± 新店2店舗OPEN(4月:京都, 8月神戸)

→ 機能特化の都市型店舗



#### ■ お試し価格による

新規会員獲得

#### ■ 好調なダンススクールの増設

#### ■ 新店(京都, 神戸)の会員獲得

→ “ふらっと京都・神戸”キャンペーン



本資料のうち、業績見通し等に記載されている内容は、現在入手可能な情報による判断に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策を保証するものではありません。

本資料は、2012年11月2日に公表した「2013年3月期 第2四半期決算短信」に基づくものです。